

中学校・高等学校

大切に育てた花で地域に笑顔を「花育プロジェクト」

昨年度から始まった中学校の「花育プロジェクト」。今年も(株)竹中庭園緑化の専門家の指導のもと、全学年共通で「ヒマワリ」、1年生は「キバナコスモス」、2年生は「ケイトウ」、3年生は「ニチニチソウ」を大切に育てました。4月にまいた種が発芽し、ぐんぐん伸びていく若葉の生命力を感じながら、生徒たちは楽しそうに水やりをしていました。6月、元気に育った苗を樟蔭のフラワーガーデンとプランターに植え替えました。そして7月、夏の花がきれいに咲き、学園に彩りを添えています。

花を育てた生徒たちは「長らくコロナ禍の中、少しでも地域の人たちに笑顔と元気を届けたい」と考え、東大阪市立永和図書館大蓮分室や近鉄河内小阪駅周辺のお店の協力を得て、各所に花のプランターを並べました。地域がぱっと明るい雰囲気になったようで、お店の方からも好評でした。生徒たちは、土に触れ、花や緑に親しみ育てる機会を通



して、優しさや美しさを感じる気持ちを育てています。さらに、地域の人とのつながり、世代間交流も体験しています。●●さん(中学2年)は「雑草抜きが大変でしたが、達成感もありました。愛情を込めて育てたお花に癒やされる人がいたらうれしい」、▲▲さん(中学2年)は「昨年からの活動に取り組んで、環境への意識が変わりました。家でも育ててみたい」、■■さん(中学2年)は「クラス全員で取り組むことでコミュニケーションが生まれ、前より一層仲良くなりました」と話しています。

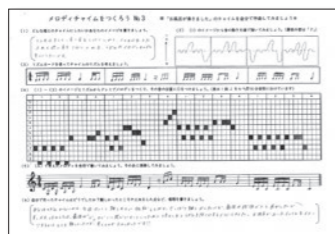
花を受け取った永和図書館の本村明彦館長は「家族連れの利用が多いので、可愛がってもらえるように設置したい」と話して下さいました。



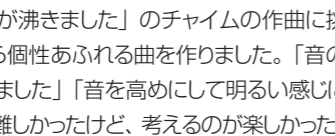
商店街にプランターを並べる中学生たち FRANK'S(フランク)小阪本店で ヴィ・ド・フランス小阪店で 東大阪市立永和図書館大蓮分室で

音楽室に響くかわいらしいグロッケン奏の音

中学校2年生の音楽の授業に作曲を取り入れています。学校のチャムや給湯器のメロディーを各自で作ります。生徒は作りたい音楽のイメージを文章で書き、グロッケン(鉄琴)をたたきながら音やリズムを探っていきます。作った曲は楽譜に起こし、演奏します。発案した辻井郁子先生は「音楽表現の幅が広がるうえ、基本的なリズム取りや楽譜の書き方が身に付きます」と話します。発案のきっかけはコロナ禍で合唱や合奏など思うような授業ができなくなったから。生徒が楽しめる方法を考えた結果、行き着いたそうです。



「お風呂が沸きました」のチャムの作曲に挑んだ生徒たちは、試行錯誤しながら個性あふれる曲を作りました。「音の幅を広くしてその音をたくさん使いました」「音を高めにして明るい感じにしました」「私はリズム感がないので難しかったけど、考えるのが楽しかった」「やや速めのテンポにしてみたのですが、弾くのが難しかった」と楽しみながら学んでいます。今日も中学校の音楽室にかわいらしいグロッケンの音が響いています。この授業の様子は、コロナ禍の音楽の授業として、日経新聞にも取り上げられました。



2年ぶりの球技大会 チームワークを発揮して熱戦を展開

6月16日(水)~18日(金)、球技大会を行いました。コロナ禍で1学期に予定されていた遠足、修学旅行などが延期や中止になりましたが、球技大会は体育館の入場人数、応援の方法、ルールなど工夫し、開催することができました。昨年は中止だったため、今年初めて球技大会を経験する生徒も多く、思いっきり身体を動かして、全力で楽しんでいました。



高等学校1年生はバスケットボール、2年生はソフトボール、3年生はバレーボール、中学校1年生はバスケットボール、2年生はバレーボールです。制限があって、思うように練習できなかったのですが、各チームともチームワークを発揮して、熱戦を繰り広げていました。

中学校3年生の球技大会は3学期に予定しています。生徒たちは、中学校生活の最後の思い出になるよう頑張りたいと思っているようです。



「ICT Lab.」が始動 生徒たちのクリエイティブ活動を支援

中学校・高等学校は、全生徒にGoogle ClassroomというICTツールを利用させ、学習支援や学級運営を進めています。また、文部科学省が推進するGIGAスクール構想に先駆け、今年度から中学生はiPad1人1台環境になったこともあり、ICTツールや端末のケアを専門的に受けるスペースが必要ということでICT Lab.が設置されました。先端のテクノロジーに気軽に触れることができる環境も併設できるように意識され、今までは物置きのような情報準備室がおしゃれな空間に生まれ変わりました。



床でも作業ができるよう土足は厳禁に。ものづくりを通してクリエイティブを培うことができるよう、3Dプリンターやレーザーカッターのハイテク機器を完備しつつ、木工活動を通して環境学習にも力を入れています。また、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)連携校として、プログラミング学習の基地としての機能も持っています。



フードスタディコース産学連携特別授業は「SU(酢)・TE・KI・な授業」



6月4日(金)、高等学校フードスタディコースは株式会社ミツカンの特別授業を行いました。緊急事態宣言の影響で、レシピ考案や座学の授業が多くなったので、生徒たちはこの日を楽しみに待っていました。



授業では利き酒ならぬ「利き酢」に挑戦。見た目や香り、甘さ、酸味の特徴、口に含んだ時のテクスチャーの違いなど、酢の性格についての説明を参考に、7種類を当てていきます。答えは各自タブレットから入力します。見分けるポイントは、色の濃さと香りだと教わりましたが、かなり難しかったようです。他にも、酢の歴史や効用、さまざまな利用法についての講義を受け、酢を使ったレシピを教わりました。もちろん、企業としての「ミツカン」の歴史もしっかり学びました。



将来、食に関わる仕事に就きたいと思っている生徒が多いので、真剣かつ、楽しそうに「SU(酢)・TE・KI・な授業」を受けていました。



自分の好きなことって何だろう? 「My time(マイタイム)」でみつけよう

高等学校1年生の総合進学コースは、「総合的な探究の時間」を「My time(マイタイム)」と称し、自分自身を総取り表現する時間があります。1年生はインプットする期間として、週に1時間、「表現」をテーマにしたさまざまな分野の講義を受けています。分野はイラスト・漫画・動画・写真・小説・詩・エッセイ、国際理解、化粧・ファッション、美術・工芸・書道、心理学など多岐にわたります。講師は、大阪樟蔭女子大学の先生や他大学の先生などが務めます。これまで国文学科「田辺聖子さんについて」、化粧ファッション学科「メイクについて」の講義を受けました。6月22日(火)には、芸術系の先生の作品の制作過程などの話を聞きました。大学の先生だけでなく、留学生から母国の高校生の様子などを知ることができました。生徒たちは講義を聞いて、自分を表現できるものは何だろう? 「自分らしく」を表現するために何が必要だろう? と考えています。2年生、3年生は、自分のテーマを見つけてアウトプットする期間になります。好きなことを探求して作品やプレゼンなどで表現します。



読書の機会が増える電子図書館「樟蔭e-library」スタート

中学校・高等学校は5月から電子図書館「樟蔭e-library」をスタートしています。コロナ禍で図書館の利用者が減ったことや、環境にも優しいことから電子図書館の導入に踏み切りました。タブレット端末やパソコン、スマートフォンなどから約200冊(6月末現在)の電子書籍を試読したり借りたりできます。音声読み上げ機能のある語学学習向けの電子書籍もあり、実用英語技能検定に向けた対策としても活用されています。いつでも、どこからでも利用できるため、これまで興味はあるけど図書館を利用できなかった生徒たちの読書の機会も増えているようです。図書委員長の●●●●さん(高校3年)は「電子書籍に



かない良さもあると思いました。一番のメリットは、持ち運びの負担がないこと。友人や後輩も、携帯電話で調べ物をして勉強しているので、電子書籍も気軽に利用してもらえたらいいな」と話しています。電子書籍は、生徒だけでなく保護者も利用することが可能です。

幼稚園

プログラミング教室スタート

4月26日(月)、今年も年長組を対象にしたプログラミング教室が始まりました。園児たちは遊びながらプログラミング思考を身につけていきます。

1回目の教材は、かわいいイモムシ型ロボットでした。見た目は普通の動くおもちゃですが、実はプログラミングの仕組みを自然に学べる仕掛けがあります。イモムシの胴体パーツは、一つ一つ取り外しができ、組み合わせによって動きが自由自在。直進したり、ぐるぐる回ったりします。パーツの組み合わせを



を考えると論理的思考が養われるというわけです。園児たちは興味津々の様子で、「これとこれをつけたらどうなるかなあ?」「やってみよっか!」とお友だちと相談して、試行錯誤しながら組み合わ



せを考えていました。実際に動かすと右に左に進むイモムシに翻弄されつつも、大喜びでイモムシを追いかけっていました。自分たちが考えたとおりに動かせた喜びはとても大きく、次回は何をしたらと心待ちにしている様子でした。

ダイナミックに絵の具あそび

5月11日(火)、年中組が絵の具あそびをしました。ペタペタ、ヌルヌル…、さまざまな感触を楽しむ絵の具あそびは、五感を育み、想像力を養うための大事な遊びです。園児たちにとっては、汚れを気にせず、思いっきり遊べる大好きな時間となっています。

この日、園児たちはどろんこパンツに着替えて園庭に集合しました。大はしゃぎしながら、大きな紙やダンボールにローラーや筆を使って、線を描いたり、色を塗ったりしました。ぐにょと指に絵の具を付けて絵



を描いたり、手のひらや、足の裏に絵の具をつけてスタンプするなど全身、絵の具だらけになって遊びました。最後は、絵の具のついたシートをゴシゴシこすってきれいに洗い、絵の具あそびを終えました。絵の具の感触はどうだったかな?



たくましい成長を願って こどもの日の集い

日本の伝統行事「こどもの日」を正しく理解し、元気にたくましく育てほしいという願いを込めて、「こどもの日の集い」を毎年開催しています。今年は4月30日(金)に行いました。青空の下、気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりを眺めながら、柏餅をいただき、大きな声で「♪やねよ〜りた〜か〜いこいの〜ぼ〜り〜♪」を歌いました。カッコいい兜も作ってかぶり、行事の雰囲気を楽しみました。もちろん、「こどもの日」の由来もしっかり教わりました。



今年は幼稚園のこいのぼりに加え、年長組が絞り染めをして仕上げた色とりどりのこいのぼりも登場。輪ゴムを使ってたくさんの模様ができるように工夫して作りました。輪ゴムを外し、模様を見た瞬間、ドキドキ



していた顔が満面の笑みに変わり、「ぼくたちがつくったんだよ〜!」と大喜びでした。集いの日を前にお披露目すると、年中・年少組の園児たちは「わ〜!すご〜い!」「きれい!」と驚いていました。

大学生と一緒に七タキャンドルづくり

6月23日(水)、大阪樟蔭女子大学の学生と一緒に七タキャンドルを作りました。まず、短冊にそれぞれの願い事を書きます。園児たちは「大きくなったら〇〇になりたい」「おいしいものをたくさん食べられるように」など願いを込めて書きました。「コロナウイルスがなくなりますように」と書いてくれたお友だちもいました。次にラミネートシートに願い事を書いた短冊を挟んで、周りをデコレーションしていきます。シールを貼ったり、絵を描いたり、思い思いの飾り付けをして、可愛いオリジナルランタンを完成させました。



園児たちのキャンドルづくりに参加したのは、イク×ラボ・チャレンジプロジェクトのひとつ「キャンドルナイトプロジェクト」の学生たち。普段からキャンドルづくりのワークショップやキャンドル展示を行っています。園児たちは学生から作り方を教わりながら、楽しそうに作っていました。学生たちは園児の思いをくみながら、丁寧に教えていたのが印象的でした。七タの日には、手作りしたランタンの中にキャンドルを入れて飾りました。

中学校・高等学校

- バントワリング部 <中学校・高等学校>
 - 第1・2回全日本バントワリングジュニア選手権大会(3/26~28)
 - ・ソロトワール女子ジュニア I
 - 第8位 ●●●●(中2年)
 - 第8位 ●●●●(中2年)
 - 第10位 ●●●●(中3年)
 - 第16位 ●●●●(中2年)
 - ・ソロストラットジュニア I
 - 第9位 ●●●●(中3年)
 - ・ダンストワール女子ジュニア I
 - 第2位 ●●●●(中2年)
 - ・トゥーバトン女子ジュニア I
 - 第3位 ●●●●(中2年)
 - 第11位 ●●●●(中2年)
 - 第35回世界バントワリング選手権大会日本代表選考会(3/26~28)
 - ・フリースタイル女子ジュニア部門
 - 第2位 ●●●●(高2年) *日本代表選手選出
 - 第6位 ●●●●(高3年) *国内控え選手選出
 - 第16位 ●●●●(高2年)
 - 第20位 ●●●●(高3年)
 - 第21位 ●●●●(高3年)
 - 第24位 ●●●●(中2年)
 - 第27位 ●●●●(中2年)
 - ・フリースタイル女子ジュニア部門(ペア)
 - 第6位 ●●●●(高2年)・●●●●(高2年)
 - 第45・46回全日本バントワリング選手権大会(3/26~28)
 - ・ソロトワール女子ジュニア II
 - 第1位 ●●●●(高2年)
 - 第5位 ●●●●(高2年)
 - ・ソロストラット女子ジュニア II
 - 第1位 ●●●●(高2年)
 - 第5位 ●●●●(高3年)
 - ・ダンストワール女子ジュニア II
 - 第1位 ●●●●(高2年)
 - 第3位 ●●●●(高3年)
 - ・トゥーバトン女子ジュニア II
 - 第6位 ●●●●(高1年)
 - 第13位 ●●●●(高2年)
 - ・ペアジュニア II
 - 第4位 ●●●●(高2年)・●●●●(高2年)

- ダンス部 <中学校>
 - 第11回 ダンス・ガラ OSAKA(3/29)
 - ・団体 創作コンクール部門 最優秀賞
- <高等学校>
 - 高校ストリートダンス選手権2021 第3回予選大会(3/21)
 - ・団体 第3位 *決勝大会出場権獲得
 - 第11回 ダンス・ガラ OSAKA(3/29)
 - ・団体 創作コンクール部門 最優秀賞
 - 第13回日本高校ダンス部選手権 DANCE STADIUM 春の公式戦 西日本大会(3/30)
 - ・団体 ビッグクラス 第3位

- 新体操部 <中学校・高等学校>
 - AGG OVO Spring Cup(3/11-12)
 - ・団体ショートプログラム12-14部門 第10位 団体名:White Camphor Shoins
 - SC Vantaa AGG Friendship Online Cup(5/2)
 - ・団体シニア部門
 - 優勝 団体名:Team Shoin Phoenix
 - 第5位 団体名:Team Shoin Miracle
 - ・団体シニアショート部門
 - 第3位 団体名:Team Shoin Mine
 - ・団体部門
 - 第6位 団体名:Les Belles Shoins
 - SC Vantaa AGG Friendship Online Cup(5/30)
 - ・団体シニア部門
 - 優勝 団体名:Team Shoin Phoenix
 - 第75回近畿高等学校体操競技新体操選手権大会(6/13)
 - ・団体部門 第11位

- 体操部 <高等学校>
 - 春季大会(5/22・23)
 - ・2部団体総合 第2位
 - ・2部個人総合 第3位 ●●●●(2年)
 - 私学大会(5/22)
 - ・団体総合 第4位

- ソフトテニス部 <中学校>
 - 中河内中学校春季ソフトテニス大会(6/26)
 - ・団体戦 第5位
- <高等学校>
 - 東大阪市民選手権大会(1/10)
 - ・個人戦 優勝 ●●●●●(3年)・●●●●●(3年)
 - 第3位 ●●●●●(2年)・●●●●●(2年)
 - 東大阪高等学校市民体育大会(3/31)
 - ・個人戦 優勝 ●●●●●(3年)・●●●●●(3年)
 - 第3位 ●●●●●(1年)・●●●●●(3年)
 - 大阪高等学校ソフトテニス春季大会(6/5)
 - ・団体戦 第9位
 - *近畿高等学校ソフトテニス選手権(7/18・19)出場

- バスケットボール部 <中学校>
 - 第1回Jr.Winter Cup全国U15バスケットボール大会(1/4~7)
 - ・団体 ベスト8
 - 第24回大阪私立中学校総合体育大会バスケットボールの部(3/14~25)
 - ・団体 優勝
 - ・個人 ベスト5 ●●●●●(2年)・●●●●●(2年)
 - 優秀選手 ●●●●●(2年)
 - 冬季中河内中学校バスケットボール大会(3/20~27)
 - ・団体 優勝
 - 春季中河内中学校バスケットボール大会(6/19~26)
 - ・団体 優勝
- <高等学校>
 - 第76回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会(5/15~6/6)
 - ・3回戦敗退

- スキー部 <中学校>
 - 第58回全国中学校スキー大会大阪府予選会(1/5)
 - ・女子回転競技の部 第2位 ●●●●●(3年)
 - 第67回大阪高等学校スキー新人大会(3/26)
 - ・中学生女子回転オープン部の部
 - 優勝 ●●●●●(3年)
- <高等学校>
 - SAJ公認ビューティースキンクリニックカップ2021(3/7)
 - ・スノーボードハーフパイプ一般女子の部
 - 第3位 ●●●●●(3年)
 - 第7回宮様ジュニア・スノーボード競技会(3/13)
 - ・スノーボードハーフパイプ高校生女子の部
 - 第3位 ●●●●●(3年)

- 書道部 <高等学校>
 - 第42回ふれあい書道展(1月)
 - ・特選 ●●●●●(2年)

Pick Up!

中学3年の●さんが見事、英検準1級合格!

中学校・国際教養コース3年の●●●●●さんが英検準1級に合格しました。海外に住んだ経験はなく、中学生になってからコツコツと英検の勉強を続け、1年の時に3級、2年で準2級、2級に合格。準1級は、1回目は不合格でしたが、2回目のチャレンジで見事合格しました。●さんはダンス部でも活躍しています。部活の後には疲れて集中力もないので、勉強はもっぱら通学の電車の中。電車で揺られながら、ひたすら「でる順

パス単」の本を見て、付属の音声聞いて単語を覚えられました。単語をある程度覚えてから、過去問題に取り組みました。英語音声(日本語字幕付き)の映画を見たり、学内の「英検対策講座」でネイティブの先生の指導を受けました。さらに英語の得意な母親を相手にスピーキングの練習もしたそうです。●さんは「次の目標はTOEICを受けること。機会があればアメリカに留学してみたいです。将来は英語に関する仕事ができればいいな」と話します。



入試日程及び入試関連イベント

学園各校の2021年度の入試日程と受験生対象の入試関連イベントを紹介します。お近くに進学年齢を迎えた方がいらっしゃいましたら、ぜひ樟蔭への進学を薦めていただけますようお願い申し上げます。入試に関する詳細な情報を知りたい方や、願書や資料の送付を希望される方は下記の各担当窓口までお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染症拡大により、予定が変更される場合があります。

入試日程

Table with columns: 試験名, 試験日, 合格発表. Rows include 中学校 (A入試, B入試, C入試, S入試), 高校 (入試), 大学 (総合型選抜I期, II期, III期, IV期, 推薦入試A/B, 一般入試A/B/C/D, II期).

※1 健康栄養学部は実施しません。

お問い合わせ先
大学・大学院：入試広報課 TEL：06-6723-8274
中学校・高等学校：中高幼事務室 TEL：06-6723-8185

入試関連イベント

Table with columns: 行事, 日程, 時間. Rows include プレテストI(2教科), 入試のギモン解決します, プレテストII(2教科・4教科), 入試あんしん講座, これでおしまいSHOIN相談会, ちょっとDO?樟蔭.

Table with columns: 行事, 日程, 時間. Rows include 入試のギモン解決します, 入試あんしん講座, これでおしまいSHOIN相談会, ちょっとDO?樟蔭.

お問い合わせ先 中高幼事務室 TEL：06-6723-8185

Table with columns: 行事, 日程, 時間. Rows include 指定校推薦入試対策講座(小論文・面接), 自己推薦入試(基礎学力型)・学校推薦型選抜(推薦入試A・B)対策講座, 総合型選抜入試対策講座, 一般入試直前トライ, WEB個別相談(要予約), 1・2年生向けオープンキャンパス.

※予定が変更される場合があります。予めご了承ください。

お問い合わせ先 入試広報課 TEL：06-6723-8274

人事

Table with columns: 学園, 役員, 理事, 顧問, 役職者. Lists names and positions for various departments.

Table with columns: 大学, 退職, 採用(専任), 採用(任期付き), 昇任. Lists faculty and staff changes.

Table with columns: 高等学校・中学校, 退職, 採用(専任), 事務局. Lists administrative staff.

採用 2021.4.1付
法人事務部経理課課長代理 松井 朋子
法人事務部中高幼事務室 Robert Normile

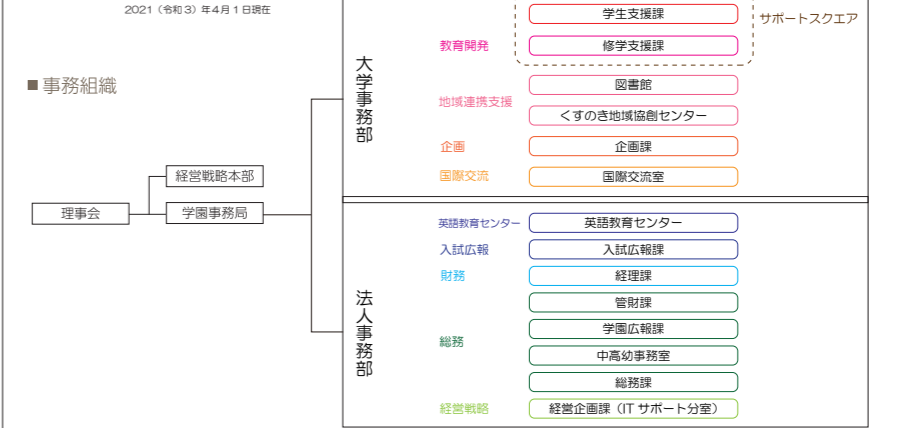
昇格・昇進 2021.4.1付 (係長以上)
学園事務局大学事務部部長代理(企画・地域連携支援担当) 兼学園事務局大学事務部くすのき地域協創センター課長 森本 康平
兼図書館事務長 森本 康平
学園事務局法人事務部総務課課長代理 瀧川 雅之

退職
学園事務局学生支援課 所属 藤井 寛子 (2020.9.30付)
山内 康平 (2021.1.31付)
藤井 優 (2021.2.28付)
橋本 友紀子 (2021.3.31付)
藤本 素子 (2021.3.31付)

財務部経理課 所属
総務部総務課 所属
高等学校・中学校 所属
大学/健康栄養学部 所属

※2021年4月1日から事務局組織の再編に伴い、部署名を変更しました。

学園運営の組織図



寄付金応募へのお礼

この度、多くの皆様から寄付へのご応募を賜りましたことに、深く感謝申し上げます。皆様からのあたたかいご支援を励みに、教職員一同で今後ともより良い学園づくりに努めて参ります。

●寄付者のご芳名(敬称略・順不同)
※2021年2月1日～2021年6月30日までに寄付いただいた方を掲載しています。以降につきましては、次回号に掲載予定です。

Table listing names of donors and their amounts, categorized by department and amount.

学園を支えてくださる皆様へ
樟蔭学園が次世代にも誇れる学園として更なる飛躍を遂げるため、皆様からの温かいご支援をお願いいたしたく、寄付金にご協力くださいますようお願い申し上げます。「リサイクル募金」も行ってあります。詳細は同封の用紙をご覧ください。寄付制度の詳細につきましては、学園広報課へお問い合わせください。

●問い合わせ窓口 ●学園広報課 TEL:06-6723-8152 FAX:06-6723-8263

大阪樟蔭女子大学 附属幼稚園の未就園児園庭開放

附属幼稚園では、子育て支援事業として地域の未就園のお子様を対象に園庭開放を行っています。開放時には実際に保育をしている教員がスタンバイし、同年代のお子様と無理なく楽しく遊べるようお手伝いをします。保護者同士の交流の場としてはもちろんですが、入園前に幼稚園の雰囲気を感じたり、先生の接する姿に子育てのヒントを見つけることができると好評です。また、保護者の方が子育ての悩みや不安を少しでも軽減できるように相談も承っています。この機会にぜひ、お越しください。

Table with columns: 日時, 対象. Details on dates (2021年 11月20日(土)・12月18日(土), 2022年 1月22日(土)・2月26日(土)) and target age (0~4歳).

●費用:無料 ●定員:各日30組限定
申込&お問い合わせ
大阪樟蔭女子大学附属幼稚園
TEL：06-6723-8189
http://www.osaka-shoin.ac.jp/kg/

Instagram and Facebook promotion for Shoin Gakuen. Includes QR codes and social media handles.

コラム

『いまの自分を声や楽器で表現』

中学校・高等学校

辻井 郁子 先生



樟蔭中学校・高等学校の音楽室は学校の中でもとりわけ見晴らしが良く設備も充実しています。初めて教室に入った時、まず生徒たちはその雰囲気「わぁ〜綺麗」と言ってくれます。教室の匂いを感じて「音楽室の匂い好き」とか「ここに来たら落ち着

く」などの声を聞くと、とても嬉しくなります。コロナ禍の中で、いまは大きな声で歌うことができず、とても残念ですが、授業の中では歌唱や楽器演奏、鑑賞など、クラシックのみならず様々なジャンルの楽曲を扱っています。高校3年生の選択授業のテストにもなると、自身で既習曲の中から1曲選択して演奏する場合もあり、個性あふれた、まるで演奏会さながらの雰囲気にも包まれることもあります。音楽も時代の流れの中、ICTツールを取り入れた授業を展開する動きが広がっていますが、私はそれらを取り入れながらも、生徒が発する生(なま)の声や演奏のアナログの部分は大切に続けたいと考えています。いま現在の自分の声、いま抱いて

つじい・いくこ
●中高 教諭
担当教科：音楽
大阪府生まれ。1995年4月より樟蔭中学校・高等学校に勤務。JAZZとガーデニングが趣味。

いる感情や気持ち、知識など各々の発達段階において、いまこの瞬間しか存在しない自分を声や楽器で表現することの大切さを知ってほしいと思います。なぜならその瞬間はもう二度とは戻ってこないのですから。そもそも音楽とは、「等身大の命の表現」だと私は思っています。いまの自分のすべてを込めて表現する中で、音楽の楽しさや素晴らしさを感じてほしいです。授業が終わって「え?もう終わり?あっという間やった」と生徒が言ってくれた時は、よかった!と私も充実した気持ちになります。休み時間、教室に残ってピアノを弾いたり、いろいろと話をしてくれる樟蔭生の人懐っこさが本当に好きです。それが私の元気の源になっています。

対象：学生・生徒・卒業生・保護者
・現教職員・旧教職員 など
募集期間：11月30日(火)当日消印有効

応募方法

作品はひとりにつき一句まで。
以下の方法からお選びいただけます。

① 学園報「くすのき vol.184」

返信ハガキで応募
本誌返信ハガキを使ってポストに投函してください。

② Eメールで応募

以下のメールアドレスに件名・項目をご記入の上、ご送信ください。
【件名：川柳】
【項目：氏名/ペンネーム/年齢/住所・連絡先】

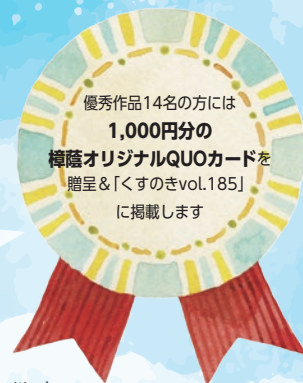
gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp

●お問い合わせ

学校法人樟蔭学園 学園広報課
TEL. 06-6723-8152(内線：2703)

お題「青春」
みなさまの「青春」はどんなものだったでしょうか?中には、「まさしく今が青春!」という方もいらっしゃるかもしれません。子育て世代、キャリア世代、遠く離れたご卒業生の方にも、川柳の作成を通して当時の学園生活に思いを馳せる素敵な時間を過ごしていただけたら嬉しいですね。

みんなでつくる 学園報「くすのき」
しよういん川柳 大募集



優秀作品14名の方には
1,000円分の
樟蔭オリジナルQUOカードを
贈呈＆「くすのきvol.185」
に掲載します

五・七・五のリズムにのせて、自分の心の中を表現してみませんか。川柳は人情・人生・人の世を詠むものであり、その範囲は無限の広がりを持っています。くすのきと笑えるもの、ほっこりするもの、思わず同調してしまうもの...どんなものでも大歓迎です。優秀な作品は次号の「くすのき」に掲載予定です。みなさまの心のこもった一句をお待ちしています。



学校法人 樟蔭学園

大阪樟蔭女子大学/大学院 樟蔭高等学校 樟蔭中学校 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園